

平成29年1月24日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時00分
閉会 午後 4時45分

2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
若 本	委 員

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
白波瀬	次長兼総括指導主事
吉 村	教育総務課長
土 岐	学校教育課長
河 原	社会教育課長兼中央公民館長
大 西	社会教育課人権教育担当課長
永 田	学校給食センター所長
八 木	文化資料館主幹
内 藤	図書館長
難 波	教育研究所長
中 川	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

3 名

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成28年12月20日に開催した定例会の会議録について承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 12月22日に第2学期の終業式を各小中学校で実施された。
- ・ 市議会の12月の定例会が閉会され、補正予算等の承認をいただいた。小学校のトイレ改修や中学校のエアコン設置についてもスタートすることになった。
- ・ 12月23日に歩いて知ろう！蒔田野町が自治会主催で行われた。蒔田野町の特色を知るため、子どもたちを遺跡発掘現場まで連れて行き説明をしていただいた。
- ・ 1月4日に新春年賀交歓会が商工会議所主催で行われた。
- ・ 1月6日と11日には学校長との人事ヒアリングを行った。
- ・ 1月8日は亀岡中学校の体育館で消防出初式が行われ、南郷公園で一斉放水等が行われた。
- ・ 1月9日の成人式には1,000人余りの対象者のうち755人の出席があった。実行委員会も6月以降何回も議論を重ね、立派な成人式となった。
- ・ 1月12日には学校規模適正化に係る東輝・詳徳中ブロック協議会が行われた。
- ・ 1月15日には亀岡市障害者を守る協議会主催で、障害のある子どもたちを対象とした成人式が行われ、7名の出席があった。
- ・ 1月18日にスポーツ賞の選考委員会が行われた。近年、全国大会や近畿大会での入賞者が増えてきている。
- ・ 1月18日に亀岡川東学園の校章選考委員会が行われ、デザイン原画を選考した。今後、一定の手続きを行い、校章を作成することとなる。校歌については学校長に依頼し完成した。
- ・ 1月19日に文化財保護委員会が行われ、亀岡市の文化財として新たに指定するもの3件の審議をいただいた。
- ・ 青野小学校が全国健康づくり推進学校優良校を受賞された。
- ・ 1月23日に総務文教常任委員会が行われ、中学校給食に関する説明を行った。

◎国・府関係

- ・ 1月11日と12日には南丹教育局との人事ヒアリングを行った。

○報告を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員 人事ヒアリングはどのようなスタイルで行われているのか。

教育長 個別で一人ひとりの校長先生と異動対象の先生などの詳細についてヒアリングを行っている。

委員 青野小学校の表彰については、どのような内容の表彰か。

教育長 給食を通じた食育や体力づくりなど総合的な取り組みを対象にした表彰となっている。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 1 6 号議案	平成 2 9 年度の亀岡市立小学校及び中学校における休業期間の変更について

○第 1 6 号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・教育委員会では、亀岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の第 3 条第 2 項に基づき変更の承認を求めるもので、夏季休業日について 7 月 2 1 日から 8 月 3 1 日までとしているところを、7 月 2 1 日から 8 月 2 9 日と少し短縮した形で授業日数を確保したいと考えている。これは、各学校長からの承認願いの提出を受け、今回教育委員会として承認を求めるものである。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 授業日数については、各市町村で自由に決めていいことになっているのか。

事務局 特別な事情がある場合は、校長からの申請に基づいて、教育委員会に諮ることになっている。

委 員 8 月 2 9 日までにするという根拠は何か。

事務局 大幅に圧縮することも可能であるが、急な変化よりも当面 2 日程度としていきたいと考える。

委 員 今後は増える可能性もあるということか。

事務局 今後の環境整備等により変化する可能性はある。

委 員 土曜活用との兼ね合いは。

事務局 近年、学級閉鎖や災害等で休校日数も増加している中で、授業日数を確保したいため、土曜活用と合わせて考える。

○第 1 6 号議案について原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ① 亀岡川東学園「校歌」について
- ② 生徒指導上の問題事象（2 学期のまとめ）について
- ③ 小学校英語の教科化に向けて
- ④ 亀岡市中学校給食のあり方に係る基本方針（案）について
- ⑤ 平成 28 年度卒業式、平成 29 年度入学式の日程等について
- ⑥ 亀岡市中央公民館の除却について
- ⑦ 史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡の史跡追加指定について
- ⑧ 亀岡市文化資料館協議会委員について
- ⑨ 平成 29 年 3 月教職員研修講座について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜亀岡川東学園「校歌」について＞

委 員 校長に依頼されたということであるが、通常このような形を取るのか。

教育長 学校に依頼して、校長が自ら作成することや第三者に依頼することもある。

委 員 今回は校長に依頼され、校長が作成後、他の方に意見を聞くなどはなかったのか。今後、歌われ続けるものなので色々な意見を聞いた方がよいのでは。

事務局 運営委員会において地元の方々にも聞いていただいた。

＜小学校英語の教科化に向けて＞

委 員 小学校と中学校の連携が大切になってくると考える。指導案を考える時に教材と一緒に考えると良いと考える。

教育長 様々な経験等を参考にして、教材づくりなども検討していきたい。

委 員 専科という形で対応することにはならないのか。

教育長 全ての学校で専科での対応は難しい。京都府では採用試験で英語枠での小学校の採用もあり、小学校の教諭でも中学校の英語資格を持っている者もいる。今後は、中学校の英語教諭も含めて協力していくことが必要と考える。

委 員 A L Tについて、今後活躍の場面が多くなってくると思う。今後はA L Tの数も増加させる必要があると考える。

委 員 免許について、教科化ということになると、英語の免許を持っていないといけないのか。

教育長 英語の免許は必要なく、小学校の免許があれば教えることは可能である。

委 員 今後、小学校の先生対象の英語研修をする機会があるのか。

事務局 現在、南丹教育局主催で小学校の外国語指導力アップ事業を受講することになっている。また、先生を指導するための推進委員の研修も受講していただいている。

<亀岡市中学校給食のあり方に係る基本方針（案）について>

委 員 デリバリー弁当方式であると民間事業者への委託となるが。食中毒や事故があった場合、教育委員会としてどのような対応をするのか。

事務局 安全安心について、検査体制等を総合的に考えて委託業者を決定していきたいと考える。

委 員 具体的には10月からモデル校を決めるとなっているが、1校だけか。

事務局 1校のみである。まずは、1校決めて夏休みに工事等を行って、実施結果をみて今後様々な意見の反映や課題の改善を行いたいと考えている。

委 員 小学校の場合は全員を対象としているため給食指導をすることになるが、中学校の場合は指導ではないと理解してよいか。

事務局 全員対象ではないので指導という考えではないが、食育として教育の観点から様々な工夫をしたいと考えている。

<亀岡市中央公民館の除却について>

委 員 今後の予定について、建築の場合は設計して工事というのはわかるが、解体するのに設計と工事に2年かかるのはなぜか。1年間ではできないのか。

事務局 亀岡会館と一体の施設になっており、大きな施設の解体について近隣住民の方々の迷惑とならないように解体するには相当な時間の設計が必要と考えている。できる限り慎重に行って行きたいと考えているため時間がかかる。

＜史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡の史跡追加指定について＞

委 員 今回追加指定の部分を買収等していくことになるのか。

事務局 買収することとなる。市有地として公有化を図ることにより保存が可能となるため、文化財としての保護が行える。

委 員 費用としてはどれくらいになるのか。

事務局 買収費用は、２～３千万円であり、国府の補助金を受ければ市の負担は１割程度である。

＜平成２９年３月教職員研修講座について＞

委 員 ビデオ撮影などは行っていないのか。

事務局 ビデオ撮影は行っていないが、内容については文書にして、ホームページで公開している。また、最終的には一覧表を作成している。

（６）その他

次回の定例教育委員会を平成２９年２月２１日に、次々回は平成２９年３月２４日に開催することとした。

（７）閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上